



自信と誇りと感謝を胸に！

小野中学校だより

第 24 号

文責：校長 大河原久宗

2018.2.5.MON

TEL:72-3355 FAX:72-2829

＜教育目標＞

【夢～自立・友愛・健康】

・課題を持ち、進んで学ぶ生徒

・互いのよさを認め、高めあう生徒

・健康で、心身を鍛える生徒

「花信風」

昨日の2月4日（日）は『立春』。暦の上ではもう『春』なのです。なかなか春を実感するのはまだ難しいかもしれません、草木をはじめ自然界では着実に春の準備をしているのです。そういえば、朝家を出るとき（6時15分ころ）、少しずつ明るくなってきたかもしれませんね。春はもうすぐ！

【花信風(かしんふう)】という言葉があります。中国では、虫はそれぞれの季節に生まれ、そして死んでいくけれど、それは各季節の風が虫の命を動かすと考えていたそうです。

また、風は虫を操るだけでなく、草木をも掘り起こして、それぞれの季節にそれぞれの花を咲かせるとも考えられてたようです。そんな風のことを【花信風】と呼んでいたそうです。辞書には、【花信】とは「花が咲いたという知らせ」、「花便り」と出ています。なんとも味わいのあるすてきな言葉だと思いませんか。

さて、3学期もあと26日（33日）になりました。3年生は3月13日（火）が卒業証書授与式です。1・2年生は3月23日（金）が修了式です。この3学期は、「誰かの笑顔のために」、「他の人のために何かできないか」の心で生活できたらいいなど3学期始業式で話しましたが、どうですか。

今、ここでもう一度、皆さんに自分の生活を振り返ってほしいのです。学級や学年にも慣れて楽しく生活はしていると思いますが、一人ひとりが、そして学級・学年・学校全体が、お互いの【花信風】になれていたでしょうか。

仲間が何かをするときに「頑張れ！」と励ましたり、支え合ったりする風が吹いていたでしょうか。また、自分が「頑張りたい！」という気持ちになるようなそんな温かい風にあたったでしょうか。そういうものこそ学級・学年・学校に吹く【花信風】なのだと思います。

一人ひとりはみんな違います。得意なものもあり、そうでないものもあります。だからそれぞれ活躍する場も違います。そんな一人ひとりが集まって学級・学年・学校というものができているのです。それぞれの活躍の場で大いに頑張っていく気持ちと、それを支えて応援していく周りの力こそ【花信風】です。

もう26日（33日）しかない3学期だからこそ、もう一度ここで学級・学年・学校に【花信風】を吹かせてほしいのです。どんな【花信風】が吹くのか楽しみです。

※ 右の写真は2月5日（月）7時7分の学校です。駐車場の雪は解けていますが、日陰にはまだ多くの雪が残っています。



2年連続「最高学校賞」

第62回福島県書きぞめ展において、子どもたちの頑張りと先生方のご指導により、小野中学校が2年連続で「最高学校賞」を受賞しました。また、3名の生徒が「特別個人賞」に入賞しました。入賞した作品の一般公開は、2月4日（日）から10日（土）まで福島県教育会館において行われます。

「最高学校賞」と「特別個人賞」の表彰式は、2月11日（日）午前9時30分より、福島県教育会館大ホールで開催されます。
<福島市上浜町10-38>

また、小野町では、小野新町小学校が「学校賞」、浮金小学校が「奨励学校賞」を受賞しています。また、多くの児童や高校生も「書きぞめ賞」や「書きぞめ奨励賞」を受賞しています。すばらしいですね。2月15日（木）には町長への報告会が予定されています。

我が校の受賞者を紹介します。

◎「書きぞめ大賞」：3年 大竹 さん

◎「書きぞめ準大賞」：2年 先崎 さん・1年 吉田 さん





「小野町教育ポータルサイト」のアクセス数も2月5日（月）現在 150,879件となり、平成29年4月3日が93,270件でしたので、毎日約190件のアクセスがあり、多くの方に見ていただけていることに感謝します。

4月にも紹介しましたが、右のQRコードを読み込んでいただければ携帯・スマートフォンからも見られますので、まだ試していない方はぜひよろしくお願いいいたします。

学校だよりや「小野町教育ポータルサイト」を通して、「開かれた学校づくり」を目指し、日々の子どもたちの活動について、これからも発信し続けていきます。ポータルサイトについてのご要望等がありましたら、気軽に学校にお寄せください。よろしくお願いいいたします。

● 2018/02/01 皆既月食を見ましたか？

昨日の皆既月食、皆さんは見ましたか？日本全国で部分食の始まりから終わりまで見られる皆既月食が起きたのは、2015年4月4日以来およそ3年ぶりでした。校長先生は、郡山の自宅でカメラを構えて月を見ていました。三脚を忘れたため、いい写真は撮れませんでしたが、紹介します。皆既月食の時間帯は雲がかかり見るのをあきらめてしまいました。最後の写真は、国立天文台三鷹キャンパスで撮られた写真です。国立天文台のホームページからの記事を紹介します。

「1年で最も寒さが厳しい季節。凍てつく冬の夜空を煌々（こうこう）と照らしていた満月は徐々に地球の影の中に入り、およそ1時間後にはまぶしい輝きを失って暗く赤い色の月に姿を変えました。皆既月食——夜空に浮かび上がる赤銅色の月の姿、そして、漆黒の夜空で一斉に輝きを取り戻した冬の星々。1時間あまりにわたって、空高く昇った皆既中の月と賑やかな冬の星座たちの共演を心ゆくまでたのしむことができた夜でした。」



● 2018/01/24 学校給食週間！

1月24日から30日まで、「全国学校給食週間」です。学校給食は、明治22年、山形県のお寺で学ぶ、お弁当を持参できない子どもたちに、おにぎりと塩鮭、漬け物が出されたのが始まりです。

終戦後の昭和22年1月20日に全国的に給食が始まりましたが、ミルク（脱脂粉乳）とトマトシチューだけでした。やがて昭和25年にパンとおかず等の完全給食となり、給食週間も始まりました。昭和40年には麺が、昭和51年にはご飯も出るようになりました。

小野町では今日から5日間は特別献立になっています。福島県の郷土料理や昔の給食を食べながら、郷土の料理の味や特産物について学ぶとともに、感謝の心を持って給食をいただきましょう。私たちは、動物や魚、野菜等、食べ物のいのちをいただいて生きています。また、給食に関わるたくさんの人のおかげで食べることが出来ています。「いただきます」「ごちそうさまでした」と感謝して給食をいただきましょう（家庭でもですよ）。また、「食(べる)」は「人」に「良(い)」と書きます。勉強や運動を頑張るためには、「食べる」ことが大事です。しっかりとんで、残さず食べられるといいですね。

【本日の給食】

- 郷土料理献立：切り昆布入り五目ふかし、豆腐餅、目光りの唐揚げ＜浜通り＞、こづゆ＜会津地方＞



● 2018/01/18 凹凸の書き順を知っていますか？

今日は、私の苦手な国語のお話です。浮金小学校では俳句教室が開かれていました。児童の一句です。「新年の 抱負考え 石になる（5年児童）」なかなかいいですね。俳句のおもしろさを感じた時間だったことでしょう。俳句を一つ紹介します。

「□□□□□ もう秋ですか お父さん」。□□□□□にはどんな言葉が入るのでしょうか？「ふるさとは」、「さんま食べ」、「…」。言葉一つによってイメージが変わります。みなさんはどんな言葉を入れますか？

この俳句を詠んだ中学生は、「天国は」と亡くなった父を思い詠んだそうです。私も早くに（6歳のとき）父を亡くしましたが、この俳句と出逢った時は、父と会いたくなつたことを思い出します。父は昭和5年生まれ、午（うま）年、生きていれば88歳だったなあ。



次は漢字の書き方のお話です。基本の書き方は、「左から右へ」、「上から下へ」です。では、「おうとつ」は漢字で「凹凸」と書きますが、「凹（おう）」と「凸（とつ）」の書き方（書き順）を知っていますか。「凹」「凸」の漢字を上と下の2つの部品に分けて考えるそうです。どう2つに分けるのでしょうか。どちらも五画の漢字ですよ。※解答はホームページをご覧ください。